

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年8月24日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0172901613		
法人名	有限会社 ライフステージ		
事業所名	グループホーム ひだまり		
所在地	北海道旭川市神楽4条1丁目2-5 (電話) 0166-69-0230		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年8月20日	評価確定日	平成21年9月7日

## 【情報提供票より】(平成21年8月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年4月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	25 人	常勤 12人, 非常勤 13人, 常勤換算	8.3人

### (2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	1~2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000 円	その他の経費(月額)	21,000~29,000 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,100 円	

### (4) 利用者の概要(8月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	4 名	要介護2	8 名		
要介護3	1 名	要介護4	4 名		
要介護5	1 名	要支援2			
年齢	平均 84.5 歳	最低	77 歳	最高	94 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	神楽神経内科医院・旭川南病院・小川歯科医院
---------	-----------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

閑静な住宅地に位置したこのホームは利用者の一日の特徴的な様子を職員が日々観察して「一日一行日誌」として家族にホームだよりと一緒に送付し伝えています。今年から日常の業務を見直し、利用者のADLの低下に応じた個別ケアを重視した取り組みを行っており、介護計画書もセンター方式を取り入れ、利用者一人ひとりの状態に合わせたケアの実践に取り組んでいます。日常の散歩の際には清掃活動を行い、利用者が地域の一員として自覚を持って過ごせるよう支援しており、また、法人主催の「ひだまり交流祭」を開催して、地域の方々やご家族、ボランティアのとの交流を図っています。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、運営推進会議の定期的な開催でしたが、年6回を目標に取り組んでおり、ホーム主催の行事や勉強会等の際に 運営推進会議を開催するなど工夫して、ホームや利用者、認知症を理解して貰う取り組みを検討しています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者・職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、自己評価は、日々のケアを振り返る機会と捉え、外部評価についても具体的な改善に向けて全員で取り組んでいます。また、外部評価の結果については、運営推進会議に報告され、意見を運営に反映させています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、年6回を目安に開催されています。議題は 運営推進会議の趣旨並びに今後の運営について 利用者状況の説明 AEDの設置について ひだまり交流祭について GHにおける防災について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 利用料金を毎月、持参しているの、来訪時に日常の暮らしぶりの様子や健康状態、家族の意見や要望など職員と話し合われており、「ひだまり通信」で日常の生活ぶりや行事の様子を写真を掲載し伝えており、金銭管理についても毎月報告されています。また、玄関入り口には、苦情受付ポストを設置しており、運営推進会議で意見交換されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 日常の散歩の際には清掃活動を行い、利用者が地域の一員として自覚を持って過ごせるよう支援し、地域の方々との挨拶で交流を図っています。また、ホーム主催のひだまり交流祭やクリスマス会、おゆうぎ会での幼稚園児との交流や地域の行事参加や演芸ボランティアの来訪、花壇や畑作業での近隣住民との交流を通じて地域との連携が行われています。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、五つの「あい」を掲げ、事業所独自の理念として作り上げており、地域住民の方々に認知症やホームへの理解を認識して頂けるように取り組んでいる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて具体的な目標を明確にしており、毎月のミーティングや毎日の申し送りの中でも話し合う機会を設け、理念の実践に向けて日々、取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	日常の散歩の際に火ばさみとゴミ袋を持って清掃活動を行い、利用者が地域の一員として自覚を持って過ごせるよう支援しており、地域の方々との挨拶で顔なじみになり交流を図っている。また、毎年、法人主催の「ひだまり交流祭」の開催で地域の人達との交流が促進されている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者・職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、自己評価については、日々のケアを振り返る機会と捉え、外部評価についても具体的な改善に向けて全員で取り組んでいる。また、外部評価の結果については、運営推進会議に報告され、そこでの意見を運営に反映されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については、年6回を目安に開催されており、委員は家族、町内会役員、民生委員、知見を有する有識者、法人代表者及び管理者・職員で構成され具体的に取組んでいる。</p>		<p>今後も、年6回を目標に実施計画がされており、ホーム主催の行事や勉強会等の際に運営推進会議を開催するなどの工夫をして、ホームや利用者、認知症を理解して貰う取り組みを検討している。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営者、管理者、職員は市の担当者との連携についての重要性を理解しており、市主催の研修会や勉強会にも積極的に参加している。</p>		
<p><b>4. 理念を実践するための体制</b></p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>利用料金を毎月、持参戴いているので、来訪時に日常の暮らしぶりの様子や健康状態、家族の意見や要望など職員と話し合われており、「ひだまり通信」で日常の生活ぶりや行事の様子を写真を掲載して伝えている。金銭管理についても毎月報告されている。</p>		<p>特筆すべき点として、ホームだよりの「ひだまり通信」では、一人ひとりの一日の特徴的な様子を職員が日々、観察して「一日一行日誌」を添付して伝えており、家族からとても喜ばれている。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関入り口には、苦情受付ポストが設置され苦情や意見を言い表す機会が確保されており、運営推進会議での意見交換もされている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>運営者は、職員の異動や離職などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。また、ホーム便りの「ひだまり通信」の中で職員の紹介記事を掲載している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>グループホーム連絡協議会や研究会などの外部の研修参加や職場内研修、OJTを実施して職員を育てる取り組みがされている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会・研究会での参加交流でケアサービスの質を向上させていく取り組みをしている。また、今後は、職員が他のグループホームを見学する機会をつくりケアサービスの更なる質の向上に取り組む計画がされている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、利用前には、利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>センター方式で利用者、個々の力量を見極め、出来る範囲で一緒に行えるものを探しており、ホーム敷地内の畑でジャガイモやトマト、茄子などの野菜を栽培したり、刺し子や縫い物、習字などの趣味への支援、ホーム行事への参加など本人の気持ちになった支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>センター方式での情報収集で本人や家族からの希望や意向を踏まえ、散歩や買い物、ドライブ、野外での焼肉など外出の機会を多く作ったり、花や野菜の栽培、縫い物、カラオケなどの趣味への支援や食事の準備などの取り組みがされている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>センター方式を取り入れ、介護支援専門員の適切な監理のもとに利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、計画的に見直しが行われている。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、定期的な医師・歯科医師の往診や通院への支援、散歩や買い物など事業所の多機能性を活かした柔軟な支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者、家族の希望や要望に応じて状態変化などについても適切な医療が受けられるよう支援されている。また、本人及び家族等の希望を大切に、医師・歯科医師の往診や看護師との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、本人や家族と話し合う機会を設け、医師・家族と連携し、職員間でも方針が共有されている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重した声かけが行われ、記録等の個人情報の扱いは配慮されている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースを大切にして、花や野菜作り、買い物や散歩、気晴らしのドライブなどの外出、ホーム行事への参加など本人の希望やペースに沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	センター方式で利用者の食べ物の好き嫌いを把握し、食事が楽しみなものになるよう、職員と利用者が本人の希望や力量に応じて一緒になって楽しんで食事の準備や後片付けをしており、専門の調理職員が配置されている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、ゆっくりとくつろいで入浴が楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの生活習慣に合わせ、洗濯物たたみや花や畑の水やりや熱帯魚の餌やり、カラオケや機能訓練のための体操への参加、刺し子や縫い物、習字などの趣味や楽しみごとへの支援がされている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日の散歩や希望に応じての買い物、ホームの敷地内にある畑の収穫など、その日の状況に合わせて個別に取り組んでいる。また、全員で音楽大行進の見学や紅葉狩り、花見など気分転換のために外出ができるように支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、玄関は、鍵をかけないケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>AEDがホームに設置され、救急救命の訓練が早急を実施されている。また、年2回、緊急時に速やかに対応ができるように実技を伴う火災避難訓練が実施されている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養バランスや摂取カロリーについてもおおよそ把握され、医師や栄養士の指導や助言も受けて支援されている。また、具体的な水分・食事摂取量が記録されている。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居間、廊下などの共用空間は、家庭的雰囲気を有しており利用者がゆっくり過ごせたり談笑などして自由にごくせる場となっており、熱帯魚や観葉植物を配置し、利用者の作品の刺し子や行事の様子の写真が飾られている。また、ウッドデッキのあるベランダでは食事や外気浴で利用されており、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人が居心地よく過ごせるように居室には、使い慣れた家具やテレビ、ソファなどが持ち込まれている。また、本人や家族と相談しながら一人ひとりの思いが伝わる空間作りとなっている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。